



2026年6月24日

各 位

会 社 名 リズム株式会社  
代表者名 代表取締役社長 湯本 武夫  
(コード番号 7769 東証プライム)  
問合せ先 取締役常務執行役員 相澤 竜也  
(TEL 048-643-7241)

### 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について（アップデート）

当社は、2024年3月4日に公表し、2025年3月24日にアップデートいたしました「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について」に関しまして、本日開催の取締役会にて現状分析・評価を行い、改善に向けた方針、取組を改めてアップデートいたしましたので、お知らせいたします。

2026年3月期より、2025年3月24日公表（2025年6月23日修正）の「中期経営計画 2027」に基づく取組を行っております。その結果、同事業年度の業績は前期比増収増益となり、ROEは7.1%となりました。また、株主還元の拡充も行いました。

これらの結果、2026年3月初旬までのPBRは1倍程度で推移しておりましたが、現時点では1倍を割り込んでおります。業績向上に伴う投資余力拡大に基づく事業投資の積極的な推進など、引き続き、中期経営計画 2027 に基づく業績拡大による企業価値向上を第一に、資本コストや株価を意識した経営の実現、更なるPBRの向上に努めて参ります。

以上



# 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応 (アップデート)

---

2026年6月24日  
リズム株式会社  
(東証プライム 7769)

# I 概要・対応方針

## II 資本コストや資本収益性に関する現状分析

### III 主な取組

#### 注記

- ・本資料中、特段の注記がある場合を除き、金額は切り捨て、年は事業年度(4月～翌3月)を表します。
- ・2025-2027年度中期計画数値は2025年6月23日発表「中期経営計画2027（修正）」の数値です。
- ・2026年度通期業績予想の数値は、2026年5月14日発表「2026年3月期決算短信」における予想値です。

# I 概要・対応方針

## 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応

	2026年3月末	【課題】 ✓ 中期経営計画2027に基づく更なる収益拡大 ✓ 資本コストを上回る「 <b>資本収益性</b> 」の確保 ✓ 「 <b>成長性</b> 」への適切な市場評価 (適正株価水準の維持)
株価	3,500円	
PBR	0.82倍	
ROE	7.1%	

## 現状分析

- **2026年3月期は中期経営計画2027を上回る売上、利益水準を確保。**
- **ROEは7.1%（前年度2.4%）と大幅に改善。当社試算WACC（6%程度）、株主資本コスト（7%程度）と同水準。**
- **PBRは1倍程度で推移していたが、年度末には1倍割れ。更なる改善が必要。**
- PERは前年度42倍から14倍へ低下。
- プライム市場上場維持基準を充足。

## 対応方針

- 中期経営計画2027による業績拡大
- 持続的な成長実現のための経営資源の適切な配分

## 改善に向けた取組内容

## ■ 中期経営計画2027に基づく各種施策の実施

- 中期経営計画2027で業績拡大図り、成長戦略実現と持続的な成長、企業価値向上を目指す

## ■ 資本コスト経営の推進

- WACC、ROICを加味した事業ポートフォリオ・KPI評価
- 事業別ROICツリーによるモニタリング
- 投資基準に基づく個別投資判断

## ■ 成長分野への積極投資

- 設備投資、研究開発投資、人的資本投資、M&A

## ■ 株主還元の向上・資本政策

- 配当方針の変更による株主還元の拡充（2025年6月）
- 2025年度増配（一株当たり167.60円）

## ■ IR活動強化

- 英文開示、個人投資家向け説明会、機関投資家との1on1ミーティング

## ■ コーポレートガバナンスの向上

- 適切なリスクヘッジと果敢なリスクテイク
- 改訂コーポレートガバナンス・コードに基づくガバナンス態勢の再点検。実効性の更なる高度化へ。

## Ⅱ 資本コストや資本収益性に関する現状分析

## Ⅱ 資本コストや資本収益性に関する現状分析

### 売上・利益

(百万円)	2024年度		2025年度		
	実績	中期計画	実績	前期比	計画比
<b>売上高</b>	<b>32,666</b>	<b>33,500</b>	<b>34,755</b>	<b>2,088</b>	<b>1,255</b>
精密部品事業	24,813	24,700	26,679	1,865	1,979
生活用品事業	7,447	8,300	7,581	134	-718
その他事業	405	500	494	88	-5
<b>営業利益</b>	<b>817</b>	<b>1,400</b>	<b>1,586</b>	<b>768</b>	<b>186</b>
精密部品事業	2,071	2,150	2,536	464	386
生活用品事業	-764	-250	-78	685	172
その他事業	60	90	79	19	-10
調整額	-550	-590	-951	-400	-361
<b>経常利益</b>	<b>1,160</b>	<b>1,700</b>	<b>1,979</b>	<b>818</b>	<b>279</b>
親会社株主に帰属する 当期利益	<b>758</b>	<b>1,200</b>	<b>2,311</b>	<b>1,552</b>	<b>1,111</b>
<b>ROE</b>	<b>2.4</b>	<b>4.0</b>	<b>7.1</b>	<b>4.7pt</b>	<b>3.1pt</b>
為替レート (期中平均)	152.59	140.00	149.98	-2.61	9.98

### PBRの状況

	株価	PBR	ROE
2025年度末	3,500円	0.82倍	7.1%

※ 2026年3月末日における終値

	流通株式 時価総額 (億円)	当期利益 (百万円)	株価 (円)	EPS (円)	PER (倍)	流通株式 比率	BPS (円)
2024年度 実績	92	758	3,864	91.93	42.0	28.4%	3,793
2025年度 実績	210	2,311	4,020	287.91	14.0	62.6%	4,263

※ 流通株式時価総額と当期利益は切り捨て、その他金額は四捨五入にて記載。

※ 株価は当該年 1 - 3月終値平均株価。

- 2026年3月期は中期経営計画2027を上回る売上、利益水準を確保。
- ROEは7.1%（前年度2.4%）と大幅に改善。当社試算WACC（6%程度）、株主資本コスト（7%程度）と同水準。
- PBRは1倍程度で推移していたが、年度末には1倍割れ。更なる改善が必要。
- PERは前年度42倍から14倍へ低下。
- プライム市場上場維持基準を充足。

## Ⅲ 主な取組

数値計画					
(百万円)	2025年度 実績	2026年度 計画	2026年度 業績予想	前期比	計画比
<b>売上高</b>	<b>34,755</b>	<b>37,000</b>	<b>37,000</b>	<b>2,244</b>	<b>0</b>
精密部品事業	26,679	27,500	27,750	1,070	250
生活用品事業	7,581	9,000	8,750	1,168	-250
その他事業	494	500	500	5	0
<b>営業利益</b>	<b>1,586</b>	<b>2,000</b>	<b>2,000</b>	<b>413</b>	<b>0</b>
精密部品事業	2,536	2,450	2,750	213	300
生活用品事業	-78	50	0	78	-50
その他事業	79	100	100	20	0
調整額	-951	-600	-850	101	-250
<b>経常利益</b>	<b>1,979</b>	<b>2,300</b>	<b>2,300</b>	<b>320</b>	<b>0</b>
親会社株主に帰属する 当期利益	<b>2,311</b>	<b>1,700</b>	<b>1,700</b>	<b>-611</b>	<b>0</b>
<b>ROE</b>	<b>7.1</b>	<b>5.0</b>	<b>5.0</b>	<b>-2.1</b>	<b>0</b>
為替レート (期中平均)	149.98	140.00	145.00	-4.98	5.00

## 引き続き、ROIC経営フレームワークに基づいた資本コスト経営を推進

### 体制

#### 取締役会・経営会議

#### 事業ポートフォリオ報告（年2回）

- 基本方針についての議論
  - 事業ポートフォリオ評価
  - M&Aについての議論 など
- ※M&Aについては別途定例報告

#### 事業ポートフォリオ実務者協議会

担当役員・現場幹部による

- 重点改善指標の設定
- 具体的施策の進捗・効果の確認

### ROIC経営フレームワーク

#### 事業ポートフォリオ評価

#### 資本コストを踏まえた 投資判断

(当社試算) WACC 約6%  
株主資本コスト 約7%

#### 資産の最適化

不動産の売却  
政策株の売却  
在庫適正化への取組

#### ROE改善の道筋

2024年度  
2.4%

2027年度  
6.0%

利益の最大化  
に向けた積極投資

長期ビジョン

8%超

株主資本マネジメント  
最適資本構成の実現

中期経営計画2027  
キャッシュアウト

150～160億円

キャッシュイン	キャッシュアウト
営業CF 70～80億円	事業投資 50～60億円
手元資金 資産売却 借入金 80億円	M&A 50億円
	株主還元 50億円

基本的な考え方

- ✓ 持続的な成長に向けた積極的な投資
- ✓ 株主還元の拡充

2025年度の実績

【キャッシュイン】

- 営業キャッシュイン 33億円
- 固定資産売却 5億円

【キャッシュアウト】

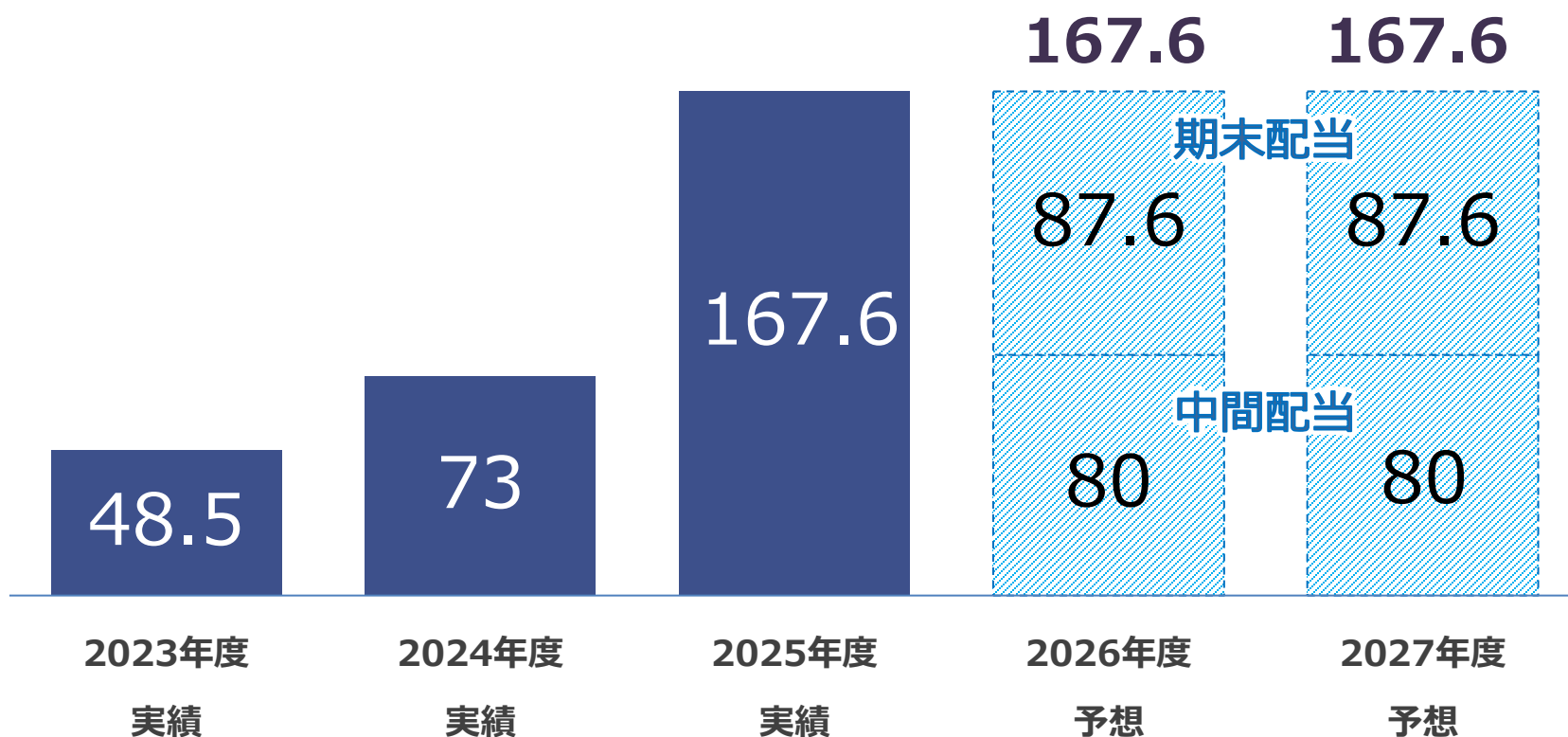
- 設備投資 14億円
- 配当金総額（26/3） 13億円
- 自己株の取得 10億円

株主還元の向上

【配当基本方針】

- 配当性向(連結)35%以上、DOE(連結純資産配当率)4%以上
- 安定的な配当を継続
- 2027年3月期より中間配当を実施

一株あたり配当金



※2026年3月期決算説明会（2026年5月27日）資料より抜粋

## 【免責事項】

本資料は当社をご理解いただくために作成されたものです。

本資料における予想、計画等将来に関する記述につきましては、当該時点において入手可能な情報に基づき算出したものであり、確約や保証を与えるものではありません。将来における当社の業績と異なる可能性がある点を認識された上で、ご利用ください。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。

## 【広報IR担当窓口】

リズム株式会社

経営企画部 相澤

森

電話 048-643-7241（経営企画部直通）